

マレーシアと省エネ支援に関する令和3年度第2回オンライン会議を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和3年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。今年度は2021年11月に省エネ実技研修、12月に熱技術研修をオンラインで実施しました。2022年2月22日、マレーシアのエネルギー天然資源省等と、今年度第2回目のオンライン会議を開催し、上記研修の評価と今後の要望等について議論しました。



1. 会議出席者：

- (1) マレーシア側：エネルギー天然資源省(MENR/KeTSA) Undersecretary, Ida Shukor博士他2名、SEDA（持続可能エネルギー開発庁）Director, Lojuntin氏他1名、EC（エネルギー委員会）Deputy Director, Umar氏、計6名
- (2) 日本側：ECCJ国際協力本部4名

2. 結果概要：

今年度、マレーシアの政府・各種協会・大学の関係者計36名を対象に実施した2回のオンライン研修の評価を中心に以下の項目について確認・討議しました。

- (1) BECMY8 パート 1 研修：2021年11月24日、25日の2日間で、省エネ実技研修を実施しました。日鉄テクノロジー(株)とTLV(株)の燃烧炉等の設備のオンライン見学について、非常に有効であるとの評価が示されました。
- (2) BECMY8 パート 2 研修：2021年12月3日、10日、17日、24日の4日間で、熱技術研修を実施しました。熱設備の省エネ診断方法等の講義について、役立ったという評価を得ました。
- (3) 省エネ法の策定状況：法案を議会に提出する予定時期が、2022年第1四半期（1-3月）から、2022年7月に見直されました。
- (4) マレーシアでは新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、パイロット事業の展開はまだ暫く難しい状況ですが、今後の要望として、ECガイドラインセミナーやエネルギー診断士のModuleを研修項目に加えることが提案されました。

以上